

平成 29 年 第 8 回定例教育委員会会議録

- 1 招集年月日 平成 29 年 8 月 31 日 (木) 15 時 00 分～
- 2 招集場所 佐々町役場 別館第 2 会議室
- 3 出席委員 黒川教育長、舩委員、齊藤委員、十時委員、山之内委員
- 4 事務局出席者 水本次長、森田指導主事、江田次長補佐、林枝係長
- 5 会議録署名委員の指名 十時 嘉代子 委員
- 6 前回の会議録の承認 平成 29 年 第 7 回定例教育委員会 (7/31)
- 7 教育長報告
- 8 案 件 議案第 16 号 自己点検評価について  
議案第 20 号 佐々町いじめ防止基本方針について
- 9 報告事項 (1) 平成 29 年度長崎縣市町村教育委員会研究大会について  
(2) コミュニティ・スクールについて  
(3) 平成 29 年度事業関係について  
(4) 名義後援について  
(5) 準要保護の 8 月認定について  
(6) 行事関係報告について  
(7) その他  
・オアシスルーム活動状況報告
- 10 その他 (1) 次回開催日程 平成 29 年 9 月 29 日 (金) 14 時 30 分～  
(2) 場 所 佐々町役場 別館 2 階会議室  
(3) そ の 他

<審議の経過（要約）>

|     |  |
|-----|--|
| 教育長 | ただ今から、平成 29 年第 8 回定例教育委員会を開催します。   |
| 教育長 | <b>5 会議録署名委員の指名</b><br>本日の会議録署名委員を指名します。十時 嘉代子委員にお願いします。   |
| 教育長 | <b>6 前回の会議録の承認</b><br>前回の「平成 29 年第 7 回定例教育委員会会議録」について、事務局から説明をお願いします。  |
| 事務局 | (資料により説明)  |
| 教育長 | 今、説明がありましたが、質問や、お尋ね等ございますでしょうか。<br><br>( 「なし」 の声あり。 )  |
| 教育長 | ないようでしたら承認することといたします。  |
| 教育長 | <b>7 教育長報告事項</b><br>次に、教育長報告に入ります。   |
| 教育長 | (1)教育長の主な行動<br>(資料により説明)   |
| 教育長 | (2)町内校長会指導事項等<br>○不祥事根絶について<br>ある町での管理職の不祥事です。懲戒免職ということで、校長に対しても指導措置ということで処分されております。<br>また、小学校教員によるわいせつ行為ということで報道がなされ、相次いで教職員によるわいせつ行為が発覚し、逮捕事案が出たということで、臨時校長会で話をしたところ。なかなか見えないところというのが確かにあるわけですが、こういった資料を使って十分職員を指導するよということ校長に指導をしたところ。<br>○蛇等への注意について<br>ヤマカガシにかまれてということがあったので、子どもたちには蛇に特に注意するようにという話をしたところ。<br>学校では、既に夏休み前に、こういうのがマムシだという映像を示しながら子どもたちには注意をしていたということでした。<br>ヤマカガシというのは、校長たちもそこまでは言っていなかったということ、 |

|     |  |
|-----|--|
| 教育長 | <p>再度、登校日に毒蛇の怖さについては指導をするようにということで話をしたところ<br/>です。</p> <p>○2学期について</p> <p>明日、9月1日を迎えます。いつもそうですけど、9月1日の登校状況につ<br/>いては必ず、夏休み明け最初の登校ということで、登校状況や、欠席の事由等につ<br/>いて確認をするように、また、教育委員会事務局に登校状況を報告するようにと<br/>いうことで話をしたところ<br/>です。</p> <p>いろんな問題が9月1日に起こっているという過去の経緯がございます。絶対<br/>佐々町ではそういうことはあり得ないということとは言えないので、一定の緊張感を<br/>全職員で共有して当たるよう話をしたところ<br/>です。</p> <p>また、2学期については、夏休み中に十分に研修を積んで、今日既に研修会が各<br/>学校始まっていると思っ<br/>ていると思っ<br/>ますけれど、特に教育課程関係です。充実の<br/>時になるようにということで話をしたところ<br/>です。</p>  |
| 教育長 | <p>(3)その他</p> <p>○コミュニティ・スクールの設置について (今後の予定)</p> <p>コミュニティ・スクールについては後ほどの報告事項でご説明したいと思っ<br/>て<br/>おります。</p> <p>○佐世保市中学校音楽発表会への佐々中学校参加について</p> <p>今月9月の補正予算に、参加料とバス代を上げたいと思っ<br/>て<br/>います。</p> <p>以上、私からの報告でございます。内容等についてご質問等ございませ<br/>ん<br/>でし<br/>ょう<br/>か。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>   |
| 事務局 | <p><b>8 議事</b></p> <p>議案第16号 自己点検評価について</p> <p>(議案及び資料により説明)</p> <p>それでは、継続審議となっておりました議案第16号自己点検評価について説明<br/>を<br/>さ<br/>せ<br/>て<br/>い<br/>た<br/>だ<br/>き<br/>た<br/>い<br/>と<br/>思<br/>い<br/>ま<br/>す。</p> <p>まず、第2期佐々町教育振興基本計画によりまして、平成28年度からこの様式<br/>で<br/>評<br/>価<br/>を<br/>し<br/>て<br/>お<br/>り<br/>ま<br/>す。</p> <p>項目につきましては、大項目として10項目ありますので、1項目ずつ説明をい<br/>た<br/>し<br/>ま<br/>す<br/>の<br/>で、ご意見をいただきたいと思っ<br/>て<br/>お<br/>り<br/>ま<br/>す。よろしくお願<br/>い<br/>い<br/>た<br/>し<br/>ま<br/>す。</p> <p>それでは、2ページ目の大項目1「一人一人の可能性を伸ばす教育の推進」とい<br/>う<br/>こ<br/>と<br/>で、中項目として8項目ありますけども、活動指標としては、教育委員会と<br/>学<br/>校<br/>の<br/>評<br/>価<br/>に<br/>つ<br/>き<br/>ま<br/>し<br/>て<br/>は<br/>A<br/>評<br/>価<br/>と<br/>さ<br/>せ<br/>て<br/>い<br/>た<br/>だ<br/>き<br/>て<br/>お<br/>り<br/>ま<br/>す。成果指標につ<br/>き<br/>ま<br/>し<br/>て<br/>も、総合評価で「A」という評価をしたところ<br/>で<br/>ご<br/>ざ<br/>い<br/>ま<br/>す。</p> <p>2ページの成果指標の11番目にICT関係の項目がございますけども、「ICT</p> |

|      |  |
|------|--|
| 事務局  | <p>Tを活用して学習に取り組むことができる児童生徒の割合」ということで、現状値が68%、目標値が100%、平成28年度の実績として67%ということで、1ポイントほど下がっているという状況でございますけども、これにつきましてはタブレットの活用等がまだ十分でないという状況ということもありまして、今後、ICT支援員の活用など、学校にも指導をしながら目標値に近づけるようにしていきたいと考えております。</p> <p>続きまして、3ページの中項目、活動指標の⑥、「キャリア教育の推進」の学校等指標の内容で、36番「小学校の職場見学の実施」という項目がございます。</p> <p>この評価が「B」としてしておりますが、これが、小学校2校のうち、1校は「4」、1校は「2」という評価の結果、「3」という評価になっております。</p> <p>次に右側の成果指標の中の15番目と17番目です。15番目が、「県学力調査（英語）で6割以上理解している中学生の割合」、17番「夢の実現に向けて行動をしている生徒の割合（中学生）」ということで、まず、15番につきましては、現状値が43%、目標値が70%で、平成28年度の実績としましては43%となっております。</p> <p>17番目につきましては、現状値が64%、目標値が100%、平成28年度の実績が69%という状況で、評価としては「C」という評価をしておりますが、現在、授業の内容や、ALTを活用しながら今後、達成度が向上するように学校と連携を図っていきたいと考えております。</p> <p>大項目1の説明は以上でございます。ご意見等がございましたらお願いいたします。</p> |
| 教育長  | <p>今、事務局から説明がありましたが、特に気になるところで説明がありました。各学校、所見も書いておりますが、何かお気づき、ご意見等あればご指摘いただければと思います。お願いいたします。</p>  |
| 教育委員 | <p>活動指標の学校等指標の内容の5番、「経年経過研修の効果的な実施」というのがどういうものなのかがよくわからない。説明をしていただければと思います。</p>  |
| 事務局  | <p>経年経過研修は、教員になって1年目から5年目までの各研修があります。また、15年経験した教員の15年研修もあります。さらに、20年経験した教員の研修もあって、経験年数によっていろんなことを研修する機会が設けられており、これらの研修が経年経過研修と呼ばれています。</p>   |
| 教育委員 | <p>わかりました。同じく10番目の「学力向上支援員の効果的な活用」となっていますが、効果的な活用とはどういう活用をなされたのかを教えてください。</p>  |
| 事務局  | <p>各学校にそれぞれ支援員が配置されておりますが、担任だけではどうしても全部の児童生徒を見きれない場合に、横について一緒に勉強をする。そして、一人一人その学力の状況によって支援をしていくということで、支援員を配置し</p>   |

|      |   |
|------|---|
| 事務局  | ております。  |
| 教育長  | それと同時に、ある学校は、全国学力調査に向けた問題の丸付け等、それぞれ学校で工夫をしながら活用をしているようです。個別支援的なことが一番ですけど、それにプラスアルファしながら活用しています。効果的な活用というところで、意図したところは、子どもに対して効果があったかという考え方を持っています。  |
| 教育委員 | 12番「ALT配置への支援」、30番にも「ALT配置への支援」というのがありますが、同じ項目を上げられたのはなぜか、中項目の内容が違うといえば違いますけど。  |
| 事務局  | おっしゃるとおり、中項目の内容で評価項目を別としております。  |
| 教育長  | <p>この項目は、10、11、12、13番は、町が雇用した支援員の項目です。それが学力向上に役立ったということです。12番のALT配置への支援、もう一つ大きな問題は、課題にもありますが、中項目⑤は「外国語教育・国際理解教育の推進」ということでのALT配置への支援を行ったということです。</p> <p>ほかございませんでしょうか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>   |
| 事務局  | <p>大項目の2、「豊かな人間性、社会性を育む教育の推進」です。</p> <p>活動指標の教育委員会と学校の評価につきましては、総合評価でそれぞれ「A」という評価をしております。</p> <p>成果指標につきましても総合評価で「A」ということで評価しております。</p> <p>その中で、成果指標21番、「我が国の伝統や文化について理解と愛情のある児童生徒の割合」ということで、現状値が77%、目標値が100%、平成28年度の実績としましては79.1%ということ、昨年よりも2ポイントほど上がっておりますけども、目標値が100%ということ、達成度的には低いという状況になっておりまして、さらなる努力が必要だと思っております。</p> <p>続きまして、同じく成果指標の30番、「学校図書館の児童生徒一人当たりの貸出冊数」というところで、中学校の部分です。現状値が14冊、目標値が20冊、平成28年度の実績としまして10冊という結果になっておりますが、この結果につきましては、部活動などの両立が難しい状況ということもございますけども、今後、貸出冊数が増加するような方法を学校と一緒に検討していかなければならないと思っておりますのでございます。大項目2についての説明は以上でございます。</p> |
| 教育長  | それでは、質疑に移ります。大項目2、「豊かな人間性・社会性を育む教育の推  |

|      |   |
|------|---|
| 教育長  | 進」についてご質問、お尋ね等ございませんでしょうか。  |
| 教育委員 | 成果指標 27 番、「戦争の悲惨さや平和の尊さについて理解を深めている児童生徒の割合」これは大体、現状で 99% で、当該年度達成が 94.4% と下がっていて、特に 1 つの小学校の 85% というのがあるんですが、これは何か原因があったのですか。   |
| 事務局  | まず、評価の「A」ということにつきましては、冒頭の 1 ページ目の中でも説明をさせていただいておりますけども、達成度が 80% 以上の場合が「A」という評価となっております。各学校からそれぞれの数値をいただいているところですけども、詳しい資料が今、手元ございません。   |
| 教育委員 | 別に今すぐでなくても回答はいいですが、どうしたのかと思いましたので。  |
| 教育長  | <p>今年度初めてこの方式で実施した訳ですが、例えば成果指標 21 番、27 番、このアンケート調査というのは、とり方によってかなりばらつきが出てくるのは確かだろうと思っています。</p> <p>ですから、例えば、我が国の伝統や文化について理解と愛情のある児童生徒は手を挙げなさいと言ったらパーセンテージは下がります。例えば「こういうことでこういうことだから」など、例示を示すと上がってきます。</p> <p>戦争の悲惨さ、平和の尊さについて理解を深める児童生徒というのは、例えば「原爆について学んだよね。」など、一つの例示をしてやれば上がってくるだろうと思っています。</p> <p>この項目については、今年度初めてですから、意図的、作為的にそういう話をしてという指示はしていません。ただ、変な競争意識を招く必要はないだろうと思えますけれど、本当は高いほうが本当ではないかと私自身は思っています。両小学校ともおおよそ 100% に近い子が平和の尊さ等についてはわかっているんだろうと思っています。</p> <p>生のデータ、これを示すことによって、アンケートの取り方自体についても各学校で工夫、研修をしてほしいと伝えています。比較ではないです。実数は、85ではなく、恐らく 100 に近いはずだと私は思っています。</p> <p>生のまま示して、来年度は、なぜこういう数字が出たかということから考えなければならぬと思います。</p> |
| 教育委員 | 教育委員会は、両小学校でこの差が出るというところの研究材料ですけど、把握していらっしゃるんですか。   |
| 教育長  | 資料の一番右側に「調査」という項目に「学校運営調査」というのが結構出てきますが、これは毎年、県の教育委員会がいろんな教育の内容に関する項目、100 項目ぐらいですが、かなりの項目の実態調査をかけます。そのときに出てき  |

|      |   |
|------|---|
| 教育長  | <p>た数字です。</p> <p>ですから、調査方法の内容について指示はありません。各学校、そこでばらつきが出ているんだと私は思っております。私どもとして、現状、こういう取り方をしろという指示はしていません。</p>  |
| 教育委員 | <p>何でこの差が出たのかというのは、両校で考えなければ、アンケートにはならないと思います。</p>  |
| 教育長  | <p>そういうことです。この数字を見たところで、変な意味ではなくて、実態を正確に反映する工夫をしてほしいし、我々も違いについてはそういうことがあったのではないかという話をしていこうと思います。高いほうが本当です。子どもたちは忘れていきますので。</p> <p>前のページの11番、「ICTを活用して学習に取り組むことができる児童生徒の割合」とあります。これも学校運営調査から取り上げたものです。</p> <p>このまま子どもたちに言ったら、おそらく差があると思います。例えば「コンピューター」など、何か説明しないと難しい子どもが出てくるだろうと思います。</p> <p>自己評価自体が、評価だけが目的ではなくて、どう実態を反映させるかということ自体も問題になってくるだろうと思っています。</p>  |
| 教育委員 | <p>意見ではないんですけど、30番の「学校図書館の児童生徒一人当たりの貸出冊数」の中学校は「D」評価になっていますが、やはり中学生になると難しい本を読むという子もいるのではないかと思いますので、冊数にあまりとらわれるのも。14冊でも、それは20冊、目標ぐらいの価値があるというか、そういうのを読んでいる生徒もいるかもしれないので、あまり数字にとらわれ過ぎると、どうかと思うところもあります。</p>  |
| 教育長  | <p>ご指摘のとおりだと思います。小学校が75冊、中学校が14冊という現状からしてみても、小学校は絵本類というのが結構あります。中学校は絵本はあまりありません。ですから、やはり数値が低くなると思います。</p> <p>ただ、この目標値の80冊というのは、実は県の読書推進計画からとった数値です。ご指摘のとおり冊数で読書を計っているのかというのは、私自身も疑問を持っています。ただ、指標とする何らかの数値となった場合に、冊数ということにならざるを得ないのも事実です。</p> <p>私自身の経験ですけど、中学の読書冊数も年間でかなりの変動があります。教師の取り組み方次第でかなり変動があると思っています。</p> <p>ですから、冊数が高ければいいということではありませんが、読ませる努力というのはしてほしいと思います。</p> <p>ですから、「D」は「D」なんです。努力をし、やはりそういうふうに変更の糸口としていくべきだろうと私は思っていますし、ご指摘のとおり、かなり質的に高い、重い本を読んでいる子は冊数的には少なくなる。それも中学生らしい特色であ</p> |

|      |  |
|------|--|
| 教育長  | ろうと私は思います。   |
| 教育委員 | 読んでほしいという希望はありますが、小学生と比べて重いのを読んでいる生徒もいるのかなと思いました。  |
| 教育委員 | 小学校は結構競争みたいにして、昔なんかは何冊読んだ子とか表に出したり、そういうふうな競争的なところもありました。   |
| 教育長  | そのあたりどうですか。  |
| 教育委員 | 何冊読んだという目標を学年によって立てているところもあるのでは。   |
| 教育委員 | 先ほど言われたように、低学年の場合はすぐ何ページかで終わる本を読むというのがあるようです。読み聞かせ活動をどれだけするかによって、読書の数も変わってくるのではないかと思います。   |
| 教育委員 | ただ、読書というのは、本当は聞くだけではなくて、字を追って行って、そして、その中で想像するというか、小説だったら、その場面を想像するとか、そういうふうなものやはり訓練する必要があると思います。   |
| 教育長  | <p>ご指摘のとおり、是非とも読書については勧めたいと思っています。ですから、ちょっと競争で、切磋琢磨は当然必要ですけど、全部競争でやってしまうと弊害もあります。学校では読書マラソンや、一斉読書など、そういう工夫をしながらやっていると思っています。</p> <p>できれば、10月ぐらいから学校訪問が始まりますので、そのあたり学校の工夫をお聞きいただければ、それぞれに頑張っているところがあるだろうと思っています。</p> <p>そのほかよろしいでしょうか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>  |
| 事務局  | <p>次に、大項目の3、「健やかな体を育成する教育の推進」ということで、活動指標の教育委員会と学校の評価につきましては、総合評価で「A」ということで評価をしました。</p> <p>また、成果指標につきましても、「A」という評価をしました。</p> <p>成果指標の33番、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力テストの結果が県平均を上回る調査項目の割合」というところで、現状値が40%、目標値が80%、平成28年度の実績が39.7%という結果となっております。</p> <p>この項目につきましては、小学生の体力テストの項目が8種目ございます。中学校が1年生9種目、2～3年生が8種目という内容になっておりまして、4割しか</p> |



|      |  |
|------|--|
| 事務局  | <p>県平均を上回っていないという結果になっております。</p> <p>どの項目が下回っているかというところになりますけども、筋力や柔軟性、持久力という項目について低いという結果になっております。</p> <p>今現在、学校では授業の中で、これらの項目が上がるような授業の取り組みをしていると聞いておりますので、すぐに結果が出るようなものではないかもしれませんが、来年度に向けてそういった取り組みもしているという状況でございます。</p> <p>大項目3につきましては、説明は以上でございます。</p>  |
| 教育長  | <p>大項目3に関してご質問等はございませんか。</p>   |
| 教育委員 | <p>今の説明がありました成果指標の33番のところで、現状維持が40%、目標値が80%、ですから、そこそこ頑張っ、とにかく、この目標値の設定というのは、やはり最終的なものは設定しないといけないということ。</p> <p>例えば次年度の目標というような感じで、あまりにもかけ離れた目標だと、何か頑張っているという感じがなくて、これも、この80%を例えば70%なり60%なりという設定をすれば、努力したという値がここに出ますので、達成したら、その次にまた少し上げた目標値を設定するという感じでもいいのではないかと、この値を見て思ったところです。</p> <p>ですから、目標値が高過ぎると少々頑張ってもなかなか数値が上がらないということになりかねないので、一応参考までに。</p> |
| 教育委員 | <p>今年の夏休み、テレビをつけていたら、全国小学校陸上競技大会と中学校陸上競技大会があつて、小学校陸上記録大会を見ていると長崎県出身者が出ていませんでした。全国大会で。全然関係ないかもしれませんが、見ていると、ちょっと悔しいというか、1種目でも出ていたらいいなと思いました。</p>   |
| 事務局  | <p>各校に「体力向上プラン」ということで、4・5月当初に運動能力テストをして、落ちているところをどうにかして上げようというプランを毎年つくっていただいて、3月末にその結果報告をいただいています。</p> <p>どうやって具体的に上げるかという、やはり授業の中で、例えば先ほど言ったように、持久力が落ちている場合は、授業の前にグラウンドを走る、体育館を走るということ、また、筋力が落ちている場合は、腕立てなど、筋力を使うような運動を授業に入る前に行っています。そういう計画を立てて1年間していますということで、そういうプランを立てて各学校体力向上に努めているところです。</p>  |
| 教育長  | <p>この目標値は一応5年間計画の中でということで80%が出ているわけです。</p> <p>来年度までやってみて、この教育振興基本計画自体の表書きに書いているように、目標値自体の見直しというのも順次やっていこうと考えております。</p> <p>この80%の根拠というのは、県が80%にしているということで設定したのですが、実態に合わせ本町は74~70%という設定はできるだろうと思います。こ</p>  |

|      |   |
|------|---|
| 教育長  | こは本町の独自性を出しても構わないと思います。   |
| 教育委員 | 項目によっては、1つか2つは県の平均より良かった、でも、極端に他のが悪かったというときに、どうしてもマイナスになってしまうというところがあり、ソフトボール投げなどは本当に今の子どもたちはできないので、下になるなど、やはり全体的に考えると、できるところはできているというのがあるものですから、この40%でも低いと思います。  |
| 教育委員 | 低いレベルからスタートをするのであれば、やはりハイレベルな学校と比べれば目標値も多少は変わってもいいのかなと思います。   |
| 教育長  | <p>この成果指標が内容の全てを表しているかという点、そうではありません。ご指摘のように、それぞれの項目について分析をして、体力向上プランとしているわけです。それぞれの分析を全部載せることができれば、詳しくわかりますが、トータルで見た場合に不十分という見方しかこの成果指標では出てこないということです。</p> <p>逆に、学校ではその項目別というのは把握して、そうしたメニューを取り入れるということをやっていかなければいけないということだと思います。</p> <p>また、委員さんがおっしゃったように、いわゆるトップアスリートのものを育てるということは、やはり必要だと思います。このことに対する成果指標はありませんが、結果が中学生であるとすれば、中体連などを含めて結構活躍している高いレベルの生徒が結構いると思っています。</p> <p>確かに、陸上関係ではここ数年、上位の成績をおさめた生徒はいませんが、結構頑張っていると思っています。</p> <p>ほかにございませんでしょうか。</p> |
| 教育委員 | ジャックナイフストレッチとはどういうことをするのですか。  |
| 事務局  | 膝の後ろに手を組んで、膝を伸ばすというストレッチです。   |
| 教育長  | <p>柔軟性を高める、県が推奨しているストレッチということで、これを入れるようにという指導がなされているところです。</p> <p>ほかございせんか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>   |
| 事務局  | <p>大項目の4、「信頼される学校づくりの推進」ということで、活動指標の教育委員会と学校の評価につきましては、総合評価で「A」と評価をしております。</p> <p>また、成果指標につきましても「A」ということで評価をしました。</p> <p>この項目につきましては、説明は以上でございます。</p>   |

|      |   |
|------|---|
| 教育長  | 特にお気づき等ございませんか。   |
| 教育委員 | 成果指標の41番、「不登校児童生徒の割合」の評価は「A」となっていますが、不登校児童生徒が少ないということですか。   |
| 事務局  | 両小学校についてはほぼ0という結果ですが、中学校については県の平均を上回っているという状況です。この件に関しましては不登校対策会議等を通じて、各担任を中心にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携を図りながら対応しております。  |
| 教育長  | ほかございませんでしょうか。<br><br>(「なし」の声あり)  |
| 事務局  | 大項目の5、「教育環境整備の推進」ですが、活動指標の教育委員会と学校の評価につきましては、総合評価で「A」と評価しております。<br>また、成果指標につきましても「A」ということで評価をしました。<br>成果指標の54番、「佐々っ子応援団あいさつ運動参加者数」の現状値50人程度、目標値100人、平成28年度実績は60人ということで評価を「C」としました。引き続き地域と連携を図りながら地道に活動を続けていきたいと思っております。<br>続けて、大項目の6、「学校・家庭・地域の連携の推進」について、活動指標の教育委員会と学校の評価につきましては、総合評価で「A」と評価しております。<br>成果指標については「D」ということで評価をしました。<br>これは、成果指標の56番、「放課後子ども教室参加児童数」と57番、「土曜学習参加児童数」の目標値に対して、平成28年度の実績が低かったため、「D」評価としております。58番、60番については、大項目5の成果指標54番と同じ項目ですので同じ評価としております。説明は以上でございます。 |
| 教育委員 | 佐々っ子応援団あいさつ運動参加者数はもっているようですが。   |
| 事務局  | 朝の見守り活動時に巡回した際は、60人程度でした。   |
| 教育委員 | 放課後子ども教室と土曜学習の参加児童数が数値が低いようですが。   |
| 事務局  | これは、活動に登録を行っている児童数を計上しています。   |
| 教育委員 | 目標値は「人」とあるので、延べ人数で計上して良いのではないのでしょうか。  |
| 事務局  | 大変失礼しました。延べ参加人数であれば、かなり数値があがりますので、評価も変わってくると思われま。   |

|     |   |
|-----|---|
| 教育長 | <p>いかがでしょうか、この数値については延べ参加人数で訂正してよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p>  |
| 教育長 | <p>ほかございませんでしょうか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>   |
| 事務局 | <p>大項目の7、「生涯学習・社会教育の推進」ですが、活動指標の教育委員会と学校の評価につきましては、総合評価で「A」と評価をしております。</p> <p>また、成果指標につきましても「A」ということで評価をしました。</p> <p>成果指標の61番、「各種講座参加者数(年間)」の評価を「D」としています。現状値481人、目標値2,000人、平成28年度実績644人で、これは、明生大学、さざんか教室、あひる学級、長崎まなび講座を実施をしましたが、昨年度と比較すれば増となっておりますが、目標値からすると達成度は低い結果となりました。</p> <p>次に、62番、「公民館活動参加者数」ですが、評価は「C」としました。現状値365人、目標値700人、平成28年度実績436人で、これは、公民館学習グループ、高齢者、女性の参加は多いのですが、男性の参加が少ないようですので、内容を検討し参加者数が増となるよう努めていきたいと思っております。</p> <p>次に、65番、「読み聞かせへの参加世帯数(土・日の参加)」は「D」と評価しました。現状値15世帯、目標値20世帯、平成28年度実績11世帯ということで、今後、更に住民への周知に努めたいと思っております。</p> <p>次に、67番「県立大学と連携した講座や活動の実施数」ですが、「C」と評価しました。これからも県立大学との連携を深め、講座や活動回数を増やしていきたいと考えております。</p> <p>続けて、大項目の8、「生涯スポーツの推進」です。活動指標の教育委員会と学校の評価につきましては、総合評価で「A」と評価をしております。</p> <p>また、成果指標につきましても「A」ということで評価をしました。</p> <p>成果指標の68番、「スポーツ少年団各部への登録者数及びクラブ数」について、「C」と評価しました。現状値254人、14部、目標値350人、17部、平成28年度実績は231人、13部という結果になっております。</p> <p>この項目についてはスポーツ少年団の指導者を通じ、また、学校や公共施設、町内の商業施設などに募集チラシを掲示しておりますが、なかなか加入が難しい状況です。引き続き周知に努め、加入促進していきたいと思っております。</p> <p>次に69番、「スポーツイベントへの参加者数」についてですが、評価を「C」としました。現状値2,000人、目標値3,000人、平成28年度実績は1,965人です。これは、ジョギングフェスティバルの参加者数です。本年度はインターネットでの申込みができるようにしますので、参加者が増えるのではないかと</p> |

|      |  |
|------|--|
| 事務局  | 期待しているところです。説明については以上です。   |
| 教育委員 | 項目によっては目標値が高すぎるのではないのでしょうか。現状値との差がありすぎて達成度が低くなってしまふのでは。昨年よりも増えているのに、評価が「D」というのもどうでしょうか。  |
| 教育長  | 確かに項目によっては目標値が高いものもあります。先にも言いましたように、実態に合わせた目標値の見直しが必要な項目も出てこようかと思ふますので、次回に向けて検討したいと思ふます。   |
| 教育委員 | 成果指標の69番、「スポーツイベントへの参加者数」はジョギングフェスティバル以外のイベントはなかったのでしょうか。  |
| 事務局  | 平成28年度は、町内駅伝大会及びわかあゆ駅伝大会も予定しておりましたが、地域交流センター建設工事の関係で今回は中止せざるを得ませんでしたので、今回は実績がなく、ジョギングフェスティバルのみとしております。   |
| 教育委員 | 町民運動会なども入れて良いのではないのでしょうか。  |
| 事務局  | 平成28年度は開催されておりませんので、平成29年度は入れたいと思ふます。  |
| 教育長  | ほかございませんでしょうか。<br><br>（「なし」の声あり）   |
| 事務局  | 大項目の9、「芸術・文化を守り、育てる活動の推進」ですが、活動指標の教育委員会と学校の評価につきましては、総合評価で「A」と評価をしております。<br>また、成果指標につきましても「A」ということで評価をしました。<br>成果指標の73番、「文化にかかわる発表会への参加者数」について、「C」と評価しました。現状値は2,700人、目標値3,000人、平成28年度実績は1,835人です。<br>この内容としては、自主文化事業として「みんなのうたコンサート」の開催、町民文化祭、青少年音楽祭の参加者数です。<br>自主文化事業については、想定よりも参加が少なかったため、参加者数が増えるような内容を検討したいと思ふます。<br>成果指標の75番、「社会教育講座、公民館講座における郷土学習の開催回数」についても「C」と評価しました。現状値は5回、目標値は6回以上、平成28年度実績は4回という結果です。<br>講座についても、更に参加者が増えるような内容、周知をしていきたいと思ふま |

|      |   |
|------|---|
| 事務局  | <p>す。</p> <p>続いて、大項目の10、「新たな地域文化創造の推進」ですが、活動指標の教育委員会と学校の評価につきましては、総合評価で「A」と評価をしております。</p> <p>また、成果指標につきましても「A」ということで評価をしました。</p> <p>成果指標の79番は、成果指標の73番と同じ項目です。同じく「C」評価です。内容についても同じです。説明については以上です。</p> |
| 教育長  | <p>ご質問等ございますでしょうか。</p>  |
| 教育委員 | <p>成果指標の77番、「町指定文化財数」ですが、15件というのは。</p>  |
| 事務局  | <p>今現在11件ですが、今後の見込みとして15件としています。</p>  |
| 教育委員 | <p>正興寺の墓石群がありますね。あれは地主の方がいじられたのか、室町時代の宝篋印塔の関係、きれいな形で残っていたのがばらばらにされてしまって、あれは本当に惜しいというか、残念というか、せっかくきれいな形で残っていたんです、今まで500何十年間も残っていたのが、完全にだめになってしまって。</p>   |
| 事務局  | <p>緑色片岩がありますよね。</p>   |
| 教育委員 | <p>そうです。あれがもったいなくて。ですから、ああいうのは何かに保存できる、やはりせっかく先生にしっかり見てもらって、「非常に大切なものです。」と書いていただいたのに生かせなかったというか。</p>  |
| 事務局  | <p>町文化財指定についての検討をしたという経過がありますが、やはり私有地で、理解が得られなかったと聞いています。</p>   |
| 教育委員 | <p>そうです。あれは残念だと思って。</p>   |
| 事務局  | <p>そのような経緯で、大日山城跡墓石群だけがあのとき町指定を受けました。</p>   |
| 教育委員 | <p>大日山城跡墓石群ですけど、間隔、板場、フェンスをつくってもらいましたが、何カ所か幅広いです。それで、今のところやられていませんが、イノシシ等が入るかもしれません。実際、石などが掘られているみたいなどころがありましたので、広くあり過ぎるところまで板を追加で張ってもらえれば防げるのではないかと思います。</p>   |
| 教育長  | <p>ありがとうございます。また具体的ご指摘もいただきながら、二、三件のめどがあるということで、必要な分については町指定をやっていこうと思っています。ほかございませんでしょうか。</p>   |

|      |   |
|------|---|
|      | (「なし」の声あり)  |
| 教育長  | なければ、全体として自己点検評価について質疑を終わりたいと思いますが、いかがでしょう。こういう形式にしてみても。  |
| 教育委員 | 非常にいいと思います。一番よかったのは、これだけ意見が出るということですね。非常に見やすくなったという気がしています。   |
| 教育長  | <p>学校の意見も聞きましたが、数字が既存の調査から取り出せるので、評価しやすくなった。どうしても文書表現だと、評価が難しくなります。</p> <p>ただ、ご理解いただきたいのですが、先程申し述べたような欠点もあるということです。評価が平均ということ、また、数値化できる分ですべてを表現しているのかというのはまた違うんだという部分もあるのだと思います。</p> <p>今後、目標の見直しも含めて、佐々町教育振興基本計画について、今の形にしたのは今年度初めてですから、ご意見をいただきながら進めていきたいと思っています。</p> <p>関連して、今後の進め方について、事務局お願いします。</p> |
| 事務局  | <p>今回、自己点検・評価について、本日承認をいただいたとしますと、来月の定例教育委員会の前に外部評価委員会を開催するように予定をしております。</p> <p>9月末に外部評価委員、教育委員で協議をしていただいた後に、通常の定例会の中で外部評価委員会の結果をもとに定例会の中で内容を確認するということとなります。</p> <p>10月20日ぐらいまでに外部評価委員の意見書を出していただく予定ですので、その意見書をもとに10月の定例会の中で皆さんにご提示をさせていただいた上で承認をいただくという流れになっております。以上です。</p>                              |
| 教育長  | <p>今、今後の流れについて事務局から説明ありましたが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、自己点検・評価について、全体通してご質疑がなければ、ご承認いただいたということでもよろしいでしょうか。</p>  |
|      | (「異議なし」の声あり)  |
| 教育長  | <p>議案第20号 佐々町いじめ防止基本方針について<br/>(議案及び資料により説明)</p> <p>ご承知のとおり、本年度に国のいじめ防止基本方針が改定になりました。このいじめ防止基本方針については、当初から3年に一度見直しをするということで、作成されてから3年経過したことで改定がなされたところです。</p> <p>それに合わせて、本町のいじめ防止基本方針についても改定するというご説明したいと思います。</p>   |

|            |  |
|------------|--|
| <p>教育長</p> | <p>基本的には、今まで3年間の中で変わったところを訂正するということ、それから、県の基本方針に従って改定をするということ、この2つで改定を行っております。</p> <p>また、文言、数字等の表記の仕方について、県を倣って統一するということもいたしました。</p> <p>1ページ、心の教室相談員、心理検査の実施等を追加いたしました。</p> <p>3ページ、けんかの項目については別項目で上げられておりましたけれど、けんかやふざけ合いのように見える行為についてこのような表記になっております。</p> <p>また、加わったのが、赤字のところです。例えば、好意から行った行為であっても相手側が不快な思いをした場合は、いじめとしてカウントをする、ただし、そういうときには「いじめ」という言葉を使わずに指導をするなど、そういう配慮はしてほしいということをつけ加えたところです。</p> <p>次に6ページ、前は佐々町いじめ等学校問題対策チームについて、何をするか書いてありませんでしたので、整理をさせていただいたところです。当事者間の関係を調整、調査を行う、学校のいじめの事案についてさらなる調査を行うということに記載したところでございます。</p> <p>7ページ、このあたりは文言の削除、表現の仕方が変わったという部分です。</p> <p>次に、8ページ、ここも基本的には同じでございます。つけ加えた部分で赤字がございしますが、学校評価の項目に位置づけるということになっております。</p> <p>先ほどご説明した自己点検評価の中にも、いじめの解消率というのがあったと思います。これはとりもなおさず学校の評価を我々が転記したところでございます。</p> <p>また、別の項目についても学校によっては位置づけがなされております。</p> <p>次に、9ページ、これも大きく変わったところですけど、「学校のホームページなどへの掲載、その他の方法によって公表をし」ということが加わりました。</p> <p>これについては、変わるということで情報がありましたので、今年度から既に学校のホームページに各学校のいじめ防止基本方針については掲載をしております。</p> <p>次に、10ページの「キ」のところは新しく加わったところです。今まで判断が難しかった、発達障害や、そういった特別支援的、特別配慮を要する児童生徒の言動に関して、それをいじめとするのかどうかということがあったわけですけど、それについても、やはり相手側の立場に立ってということを書かれたところです。</p> <p>海外から帰国した児童生徒、それから、性同一性障害や性的指向・性自認ほか、そういった課題を抱える子についても、いじめをしないということで指導をということで書いてあります。</p> <p>東日本大震災に関わるいじめは大きな社会問題にもなったところですけど、これが明記されたのを受けて、本町も書き直したところです。と同時に、原発、風水害等、被災に遭った児童生徒に対するいじめについても言及をいたしました。</p> <p>次に11ページ、これも学校の評価を入れたところです。</p> <p>12ページは、記号の変更や書き加え等を行ったところです。</p> <p>次に、13ページ、これも大きく変わったところです。「キ」のいじめの解消の</p> |
|------------|--|



|            |   |
|------------|---|
| <p>教育長</p> | <p>要件というところで、要件の1が、いじめに係る行為が止んでいること、2が被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことという2つが加わりましたので、それを加えたところです。</p> <p>次に14ページの一番上のところです。「相当期間とは、少なくとも3か月を目安とする。」というのが大きな変更点になります。いじめが解消したと言われる期間を、少なくとも3か月間そういう状態が続いたときに、一応の解消と捉えるということです。</p> <p>これは、国の方針が出る前に通知が来ておりましたので、本年度から、その月に解消した件数、3か月前のいじめ事案としなかったものについて継続していないか、解消したかどうかということで、月々の報告を学校に求めているところです。</p> <p>基本的には、いじめが起きた、すぐ解消、即対応ということで解消をされている。そして、継続して見守って、3か月間を一つの目安として解消した状態というところで、14ページの真ん中から下の赤字です。</p> <p>解消している状態に至った場合でも、いじめが再発する可能性があるということについては十分観察をするようにということで、学校にも指導をしたところです。</p> <p>15・16・17ページは文言等の変更です。</p> <p>次に、19ページです。参考資料の主な相談機関、主な関係機関を削除いたしました。というのは、この中で、今既がない、電話番号が変わった、受付時間が変わったというのがございますので、変更が多いものを基本方針にこれに書くのはどうかということで削除をしたところです。</p> <p>当然、いじめ相談ホットラインや親子ホットライン、人権擁護委員などの相談窓口を子どもたちにも配付したり、学校でも対応をしているところですので、あえて基本方針の中に記載する必要はないということで削除をいたしました。</p> <p>以上、大きな変更というのは、先ほど申しましたように、公表をするということと、一応の解消を3か月とするというところが大きく変わった改正ではないかと思っています。</p> <p>かいつまんでですが、議案第20号の説明とさせていただきますと思います。何かご質問ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>なお、各学校のいじめ防止基本方針には、先ほど申しましたポイント的なところ、3か月など、そのあたりは反映させた形で本年度既にホームページに掲載されているところです。</p> <p>本当にいじめがなくなってくればという願いを持ちながら作成いたしました。議案第20号については、これでよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> |
| <p>事務局</p> | <p><b>9 報告事項</b></p> <p>(1) 平成29年度長崎縣市町村教育委員会研究大会について<br/>資料により報告。<br/>平成29年11月17日(金)に対馬市で開催されますので、教育委員の参加をお</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>願います。</p> <p>なお、2分科会があり、分かれて参加をお願いしますので、後もって割り振りを致しますのでよろしく願います。</p>   |
| 事務局 | <p>(2) コミュニティ・スクールについて<br/>資料により報告。</p>   |
| 事務局 | <p>(3) 平成29年度事業関係について<br/>資料により報告。</p>  |
| 事務局 | <p>(4) 名義後援について<br/>2件分について報告。</p>  |
| 事務局 | <p>(5) 準要保護の8月認定について<br/>該当無し</p>   |
| 事務局 | <p>(6) 行事関係報告について<br/>8月及び9月の教育委員会の主なスケジュールについての報告。</p>   |
| 事務局 | <p>(7) その他<br/>・オアシスルーム活動状況報告</p>   |
| 教育長 | <p><b>10 その他</b></p> <p>次回の定例委員会は、9月29日(金)13時30分から外部評価委員会が終了した後、開催予定です。場所は別館会議室の予定です。以上をもちまして、第8回定例教育委員会を閉会します。</p> <p style="text-align: right;">(17時24分 閉会)</p> <p>上記のとおり会議の次第を記載して、相違ないことを証するためにここに署名する。</p> <p>平成29年8月31日</p> <p>教育長 <u>黒川 雅寿</u></p> <p>委員 <u>十時 嘉代子</u></p> |